

仕 様 書

建設局自転車政策推進室

(担当：國近、長野 電話：222-3565)

件 名	令和8年度京都市自転車利用実態調査業務
契 約 期 間	契約の日の翌日から令和9年3月31日まで
契 約 条 件	1 目的 京都市（以下「本市」という。）では、令和8年9月に「京都市自転車総合計画2031（以下「総合計画」という。）」を策定し、安心・安全な利用の推進や走行・駐輪環境の充実、自転車交通の役割拡大に向けた施策を推進し、「人にも自転車にもやさしいまち・京都」の実現を目指すこととしている。 本件業務委託は、自転車活用に係る国や他都市の動向を踏まえつつ、今後、総合計画に定める施策等を着実に推進するうえで活用ができるよう、本市における自転車の利用実態を把握するための市民アンケート調査を実施するものである。 2 業務内容 (1) 調査の実施 受託者は、以下のとおり、高校生以上の市民を対象に、アンケート調査を実施すること。 ア 調査対象 京都市内在住の15歳（高校生）以上の市民 イ 回答（サンプル）数 1,000人 ※ アンケート回答者が、最新の「京都市住民基本台帳人口」に基づく、行政区別の性別及び年代の構成比（契約時の最新値）に近い割合となるよう、可能な限り工夫すること。 ※ 不誠実な回答（極端な短時間回答、矛盾回答等）の除去・スクリーニング基準を受託者が事前に設定し、有効回答数として1,000サンプルを確保すること。 【京都市住民基本台帳人口は「京都市統計ポータル」のホームページ参照】 (URL) http://www2.city.kyoto.lg.jp/sogo/toukei/Population/index.html ウ 調査方法 インターネット・モニター調査 ※ 調査に係る画面作成等調査設計に係る費用はすべて委託費用に含まれるものとする。 エ アンケート調査の質問項目 別紙のとおり ※ 別紙の質問内容及び選択肢については、一部修正する場合がある。 （調査項目数については3問を上限に増減する可能性がある。） ※ 属性に関する設問については、登録情報等で確認できる場合は、設問から除いてもかまわない。 オ 調査時期 調査については、概ね11月～12月頃に実施するものとする。 (2) アンケート調査結果の集計及び報告書等の作成 以下のア～ウのとおり、調査結果を集計、図表化し、報告書にまとめること。 ア 調査結果の集計及び図表化 2(1)のアンケート調査結果について、質問項目ごとに集計し、円グラフ等、図表化し、報告書にまとめること。また、集計及び報告書作成にあたっては、別紙の各設問のその他に記載の内容を反映させること。 イ 過年度比較の集計及び図表化 過年度比較用に作成したデータ（過去の数値を積み上げたもの）を提供する。

契 約 条 件	当該データを活用し、過年度比較の結果を図表化し、報告書にまとめること。 また、過年度比較用データに本調査結果の数値を入力すること。 ウ クロス集計及び図表化 Q2～Q30の各質問項目に対して、居住区別（属性1）、年齢別（属性2）、自転車利用別（Q2）の3つの質問項目について、クロス集計表を作成すること。（自転車利用別について、自転車利用者のみが回答者である項目は、不要） 別紙に各設問に対する年齢別、居住区別、自転車利用別に「○」がある項目については、図表化し、報告書にまとめること。 また、各設問のその他にクロス集計に関する記載のある項目については、当該項目をクロス集計のうえ、図表化し、報告書にまとめること。 3 成果品の納品 本業務の成果品は、電子媒体及び製本版により、以下の数量を提出すること。 (1) 電子媒体 ・ローデータ（Excel形式又はCSV形式） ・GT表（単純集計表）（Excel形式） ・クロス集計表（年齢別、居住区別、自転車利用別）（Excel形式） ・過年度比較用データ（Excel形式） ・報告書（※） ※PDFデータ及び元データ（Word、PowerPoint、Excel形式のいずれか）を提出すること。 (2) 製本版 ・報告書 2部 4 留意事項 (1) 業務の実施に当たっては、本市担当職員と十分に協議すること。 (2) 本仕様書に定めのない事項又は本仕様に関し疑義が生じたときは、両者協議のうえ、これを定め、協議が整わない場合は本市の定めるものとする。 (3) アンケート調査結果の捏造等がないように適正に実施すること。受託者とアンケート回答者の取り決め事項を侵さない範囲で、データの収集方法に係る作業工程について、本市担当職員が聞き取り調査を実施する場合がある。 (4) 本業務において収集・作成したもの等の成果は本市に帰属するものとする。 5 業務スケジュール（予定、契約時期により変更となる場合がある） <table border="0"> <tr> <td>令和8年11月上旬</td> <td>委託業者との調整</td> </tr> <tr> <td>11月下旬～12月</td> <td>調査実施（2週間程度）</td> </tr> <tr> <td>令和8年12月～令和9年2月</td> <td>集計・報告書等作成</td> </tr> <tr> <td>令和9年 3月</td> <td>検収及び納品</td> </tr> </table> ※設問によっては、12月中に速報値の提出を求める場合がある。	令和8年11月上旬	委託業者との調整	11月下旬～12月	調査実施（2週間程度）	令和8年12月～令和9年2月	集計・報告書等作成	令和9年 3月	検収及び納品
令和8年11月上旬	委託業者との調整								
11月下旬～12月	調査実施（2週間程度）								
令和8年12月～令和9年2月	集計・報告書等作成								
令和9年 3月	検収及び納品								

※本仕様について不明な点がある場合は、契約課の指示に従ってください。

○ R 8 自転車利用実態調査設問一覧(1 / 10)

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
1	SC1	属性	すべて	あなたのお住まいの区を以下よりお選びください。	単一	1 北区 2 上京区 3 左京区 4 中京区 5 東山区 6 山科区 7 下京区 8 南区 9 右京区 10 西京区 11 伏見区					
2	SC2		すべて	年齢を以下よりお選びください。	単一	1 15歳～17歳 2 18歳～24歳 3 25歳～29歳 4 30歳代 5 40歳代 6 50歳代 7 60歳代 8 70歳代以上					
3	SC3		すべて	性別を以下よりお選びください。	単一	1 男 2 女 3 その他					
4	Q1		すべて	現在のご職業を以下よりお選びください。 ※複数の職業にお勤めの方は、メインの職業についてお答えください。	単一	1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 専業主婦・主夫 5 高校生 6 短大生・大学生・大学院生 7 専門学校生・専修学校生 8 パート・アルバイト 9 無職 10 その他（具体的に記入： ）					
5	Q2	自転車の 利用状況 等	すべて	あなたの自転車の保有・利用の状況について最もあてはまるものをお選びください。	単一	1 自転車を保有し、利用している 2 自転車を保有していないが、会社の自転車、シェアリングサービス、レンタサイクル等を利用している 3 自転車を保有しているが、利用していない 4 自転車を保有も利用もしていない	○	○	○		●過年度比較は「自転車の利用の有無」及び「自転車の保有の有無」で集計

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
6	Q 3		自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	あなたの自転車の利用頻度についてあてはまるものをお選びください。	単一	1 毎日利用 2 週に5～6日利用 3 週に3～4日利用 4 週に1～2日利用 5 それ以下の頻度	○	○	○		
7	Q 4		自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	あなたの自転車の利用目的についてあてはまるものを利用の多い順に上位3つまでお選びください。	上位3つ 順位づけ	1 通勤 2 通学 3 仕事（業務） 4 買物などの日常生活 5 子どもの送迎 6 趣味（サイクリングなど） 7 その他（具体的に記入： ） 8 なし（2位以降の選択肢）	○				●1～3位と合計をそれぞれ集計 ●過年度比較は1位と合計で集計
8	Q 5		すべて	以下について、あなたが最もよく利用する移動手段（組み合わせ）をそれぞれ1つずつお選びください。							
				通勤・通学时	単一	1 徒歩のみ 2 自転車のみ 3 バイク・原付のみ 4 鉄道のみ 5 バスのみ 6 自転車＋鉄道・バス（駅までの移動等に自転車を利用） 7 自動車のみ 8 その他（具体的に記入： ） 9 通勤・通学はしていない		○	○	○	
				買物等の日常利用	単一	1 徒歩のみ 2 自転車のみ 3 バイク・原付のみ 4 鉄道のみ 5 バスのみ 6 自転車＋鉄道・バス（駅までの移動等に自転車を利用） 7 自動車のみ 8 その他（具体的に記入： ） 9 買物等の外出はほとんど行わない		○	○	○	●「2 自転車のみ」と回答した者をQ2の自転車の保有有無とクロス集計
				趣味・レジャー	単一	1 徒歩のみ 2 自転車のみ 3 バイク・原付のみ 4 鉄道のみ 5 バスのみ 6 自転車＋鉄道・バス（駅までの移動等に自転車を利用） 7 自動車のみ 8 その他（具体的に記入： ） 9 趣味・レジャーのための外出はほとんど行わない		○	○	○	

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
9	Q6	自転車の 走行環境	すべて	下記の写真のようなベンガラ色（暗い赤茶）の矢羽根型の路面表示を知っていますか。 	単一	1 知っている 2 知らない	○		○	○	
10	Q7		すべて	車道の路面に矢羽根や自転車マークなどの整備された道路を走行する際にどう思いますか。 あてはまるものをすべてお選びください。	複数	1 車道に矢羽根があると車道を走らないといけないと思う 2 車道に矢羽根があると走りやすい 3 車道に矢羽根がある方が自動車は自転車に気を付けていると思う。 4 車道に矢羽根があると自転車の走行ルールを守る意識が高くなる。 5 自動車を運転する際、車道に矢羽根がある方が自転車に気を付けている。 6 自動車を運転する際、車道に矢羽根があっても、特に自転車を気にしない。 7 車道に矢羽根があっても特に気にしたことがない 8 自転車も自動車も利用しない 9 その他（具体的に記入： ）	○				
11	Q8		すべて	道路上で自動車を駐停車する際（荷物の積み降ろしや人の送迎など）、自転車の通行に対する意識や行動として、ご自身の普段の運転に最もあてはまるものを1つ選んでください。	単一	1 ルール遵守と配慮の両方を意識している（駐停車禁止場所を避けるだけでなく、自転車の通行の妨げにならない場所や停め方を選んでいる） 2 法律・ルールの遵守を最優先している（駐停車禁止場所であれば、自転車の通行への影響までは気にせず停める） 3 自転車への配慮は意識するが、業務・用件（停めやすさ）を優先せざるを得ない（短時間であれば、自転車の通行帯や路側帯にかかってしまう場所でも停めることがある） 4 自転車の通行については、普段あまり意識していない 5 自動車を運転しない		○		○	
12	Q9		すべて	自動車が自転車の側方を通過する際、「十分な間隔（1 m程度）を保つか、それができない場合は徐行（時速20 kmから30 km程度）しなければならない（側方通過義務・安全配慮義務）」というルールについて、ご自身の状況に最もあてはまるものを1つ選んでください。	単一	1 ルールを知っており、実際の運転でも常に意識して実践している 2 ルールは知っているが、交通量や道路が狭い等の理由で実践できないことが多い 3 ルール自体は聞いたことがあるが、具体的な基準（間隔や徐行義務）までは知らなかった 4 そういった法律・ルールがあることを知らなかった 5 自動車を運転しない		○		○	

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
13	Q10		すべて	京都市内を歩いていて、自転車を危険に感じたことはありますか。	単一	1 よくある 2 時々ある 3 あまりない 4 全くない	○		○	○	
14	Q11		前問で「4 全くない」の回答以外	前問で「Q10回答（例：よくある）」と答えた方にお伺いします。 京都市内を歩いていて、自転車利用者の走行で危険を感じたり、危険に思ったりする行為は何ですか。 あてはまるものをすべてお選びください。	複数	1 歩道でもスピードを緩めず走行している自転車 2 車道を自動車の進行と逆向きで走っている自転車 3 交差点等で、一時停止せずに走っている自転車 4 傘をさしながら（傘を固定して）走っている自転車 5 携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をして走っている自転車 6 夜間等にライトをつけずに走っている自転車 7 二人乗りをして走っている自転車 8 並進して走っている自転車 9 信号無視をする自転車 10 ヘルメットを着用していない自転車 11 その他（具体的に記入： ）	○		○		
15	Q12		自転車利用者 （Q2で1又は2の回答者）	歩道のある道路を自転車で走行する際、どこを走ることが多いですか。 もっともあてはまるものをお答えください。 歩道がある道路を走行しない方は、走行することを想定してお答えください。 	単一	1 歩道の建物側 2 歩道の真ん中 3 歩道の車道側 4 車道の左側（自動車の進行の向きと同じ） 5 車道の右側（自動車の進行の向きと逆）	○	○	○		●Q4の利用目的（1位）別とクロス集計
16	Q13		自転車利用者 （Q2で1又は2の回答者）	普段、「Q12回答(例：歩道の建物側)」を走行する理由をすべてお答えください。	複数	1 安全で安心して走れるから 2 安全ではないが安心して走れるから 3 自転車の走行位置として路面などに表示がされているから 4 他の自転車も同じように走っているから 5 事故に遭うのを避けたいから 6 スピードを出して走れるから 7 車道を走るのが怖いから 8 歩道を走りたいが、幅員が狭く、歩行者も多く走れないから 9 自転車は「車の仲間」で車道を走らないといけないから 10 その他（具体的に記入： ）	○		○		●Q12とクロス集計



○ R 8 自転車利用実態調査設問一覧(5 / 10)

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
17	Q14	駐輪環境	自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	自転車や原動機付自転車を公共の場所に置いて離れることは禁止されていますが、あなたはこのルールをご存知でしたか。また、普段どのように自転車等を停めていますか。ご自身の状況に最も近いものを1つお選びください。	単一	1 ルールを知っており、駐輪場など決められた場所に停めている 2 ルールを知っているが、短時間の用事などでは道路等に停めることがある 3 ルールを知っているが、道路等にしばしば停めている 4 禁止されていることは知らなかった		○	○		
18	Q15		自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	駐輪場をご利用の際に感じる点について、あてはまるものをすべてお選びください。（駐輪場を利用しない方は利用しない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。）	複数	1 目的地またはその付近に駐輪場がない 2 駐輪場に停めるのが面倒くさい 3 利用したくても駐輪場がいつも満車だ 4 駐輪場がどこにあるのかわかりにくい（わからない） 5 駐輪料金が高すぎる 6 キャッシュレス決済が使用できない 7 駐輪場に入りづらい（暗い・きたないなど） 8 駐輪場の設備が、乗っている自転車の規格にあわない（例：前かごが大きくラックに入らない、ラックにタイヤが入らない等） 9 そんなに長く自転車を停めない 10 その他（具体的に記入： ） 11 特にない	○				
19	Q16		自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	京都市営の駐輪場に求めるサービス（設備）等について、求めるものを優先度の高い順に3つお選びください。	優先度高い順3つ 順位づけ	1 2段式ラックの改善 2 交通系ICカード決済の導入 3 モバイル決済（QRコード決済等）の導入 4 防犯カメラの設置 5 子乗せ自転車用駐輪スペースの設置 6 コインロッカーの設置 7 駐輪スペースの予約 8 ヘルメット置き場の設置 9 電動アシスト自転車用充電スポットの設置 10 メンテナンスサービス 11 スポーツタイプ対応の空気入れの設置 12 市内駐輪場の満車・空車情報 13 情報発信（最寄りの観光地や自転車屋等の案内） 14 その他（具体的に記入： ） 15 求めているものはない	○				●1～3位と合計をそれぞれ集計 ●過年度比較は合計で集計

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
20	Q17		自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	駐輪場の総合的な満足度（使いやすさ、目的地までの距離、営業時間、駐車料金など）についてあてはまるものを1つお選びください。	単一	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満	○		○		
21	Q18	安全利用	自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	あなた又はあなたの家族は自転車保険に入っていますか。 【自転車保険の説明】 自転車保険は様々な種類があり、自転車保険と明記されている保険以外にも、火災保険・自動車保険・傷害保険などに「個人賠償責任保険特約」として付帯されているもの、共済や会社、PTAの保険のように団体に加入するもの、自転車車体にかかるTSマーク付帯保険、クレジットカード付帯保険などがあります。 また、保険契約者の同居家族を対象にするものもあり、本人が知らないうちに加入しているものもあります。 回答前に保険加入チェックシートで加入状況を御確認のうえ、あてはまるものすべてお答えください。 ※自転車を利用される方で「加入していない」を選択する場合は、ご家族等にも加入状況を確認したうえで、お答えください（条例に違反していることになります）。 https://kyoto-bicycle.com/insurance	複数	1 「自転車保険」と明記している保険に加入 2 火災保険、自動車保険、傷害保険等の特約として加入 3 市民共済、全労済、生協などの共済に加入 4 点検・整備を受けた安全な自転車に付帯される「TSマーク」の保険に加入 5 小中高大学生が学校で加入するPTA保険（高校生向けの全国高P連賠償責任補償制度、大学生向けの学研災付帯賠償責任保険など）や、会社などの団体保険に加入 6 クレジットカードその他に付帯している上記以外の付帯保険に加入 7 加入はしているはずであるが、どんな保険か不明 8 その他 9 加入していない	○	○			●過年度比較は保険の加入有無で集計
22	Q19		前問で「9 加入していない」の回答者	自転車保険に加入しない理由は何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。	複数	1 自転車保険についてよく知らないから 2 加入手続きなど相談先がわからないから 3 保険料が高いから 4 加入について考えたことがないから 5 自転車保険の加入義務化を知らなかったから 6 事故の加害者になることはほとんどないと思うから 7 自転車に乗る頻度が少ないから 8 その他（具体的に記入： ）	○	○			

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
23	Q20		すべて	あなたは以下に掲げる自転車の交通ルールを知っていますか。知っているルールをすべて選択してください。	複数	1 車道走行が原則で、車道の左側を通行する(歩道走行は例外) 2 歩道で走るときは車道寄りをすぐに止まれるスピードで走る 3 交差点では一時停止し、安全確認を行う 4 信号を守る 5 携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない 6 傘さし運転をしない 7 暗いときはライトをつける 8 二人乗りはしない(小学校就学の始期に達するまでの子を乗車の場合は除く) 9 横に並んで走らない 10 飲酒運転をしない 11 ヘルメットを着用する 12 すべて知らなかった	○	○		○	
24	Q21		すべて	あなたが自転車のルールで、守っていないと思うものについて(自転車を利用しない方は、自転車利用者を見て、守っていないと思うものについて)すべてお答えください。	複数	1 車道走行が原則で、車道の左側を通行する(歩道走行は例外) 2 歩道で走るときは車道寄りをすぐに止まれるスピードで走る 3 交差点では一時停止し、安全確認を行う 4 信号を守る 5 携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない 6 傘さし運転をしない 7 暗いときはライトをつける 8 二人乗りはしない(小学校就学の始期に達するまでの子を乗車の場合は除く) 9 横に並んで走らない 10 飲酒運転をしない 11 ヘルメットを着用する 12 すべて守っている	○	○		○	
25	Q22		自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	あなたは自転車に乗る時、自転車用ヘルメットを着用していますか。	単一	1 常に着用している 2 時々着用している 3 着用していない	○	○	○		

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
26	Q23	活用	前問でヘルメット未着用の者 (「3着用していない」の回答者)	自転車用ヘルメットを着用しない理由は何ですか。 あてはまるものをすべてお答えください。	複数	1 ヘルメットを着用するのが面倒だから 2 ヘルメットを着用すると髪型等が崩れるから 3 ヘルメットが高価だから 4 自転車から降りた後、ヘルメットを持ち歩くのが面倒だから 5 みんな着用していないから 6 ヘルメットを着用しなくても良いように日頃から安全な走行に気を付けているから 7 その他(具体的に記入:)	○	○			
27	Q24		すべて	青切符導入(令和8年4月)により、ご自身の自転車の乗り方にどのような変化がありましたか。もっともあてはまるものを1つお選びください。 ※青切符とは・・・16歳以上の運転者が交通違反をした場合、違反者が一定期間内に反則金を納めれば刑事手続きを受けずに事件が処理される制度。	単一	1 全体的に交通ルールを守る意識・行動が高まった 2 もともとルールを守っていたため、特に変化はない 3 意識や行動に大きな変化はない 4 自転車に乗る機会が減った(乗らなくなった) 5 青切符導入を知らなかった 6 以前から自転車を利用していない		○	○	○	
28	Q25		自転車利用者 (Q2で1又は2の回答者)	あなたは、どのような機会や場所であれば、自転車のルールや安全な利用方法について「学びたい(参加してみたい)」と思いますか?あてはまるものをすべて選んでください。	複数	1 地域のイベントでのブース、出前講座 2 高齢者福祉施設や保育施設、児童館等での出前講座 3 スーパー、ショッピングセンターなどでのイベント(買い物ついで) 4 法定健診(乳幼児健診等)や行政手続などの待ち時間・スキマ時間 5 スマートフォンやパソコンで視聴できる短時間動画・Webコンテンツ 6 特に学びたいと思わない 7 その他(自由記述:)		○			
29	Q26	活用	すべて	あなたは京都市内でシェアサイクルを利用したことがありますか。利用したことがある方は最もあてはまる利用頻度をお選びください。 ※シェアサイクル: 自転車を共同利用する交通システムであり、利用者は相互利用可能な複数の拠点(サイクルポート)において自転車を借りる、もしくは返却することができる新たな都市交通手段 ※電動キックボードは除きます。	単一	1 ほぼ毎日利用している 2 週に4、5回利用している 3 週に2、3回利用している 4 週に1回は、利用している 5 月に1回は、利用している 6 今までで2、3回程度利用したことがある 7 1回利用したが、その後は利用していない 8 知っているが利用したことがない 9 知らないし、利用したこともない	○	○	○		●各項目毎の集計のほか に、利用有無、認知有無を 集計

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
30	Q27		前問で利用経験のある方のみ	シェアサイクルを利用した目的は何ですか。 あてはまるものをすべてお答えください。	複数	1 通勤時の自宅近くから駅・バス停まで（または駅・バス停から自宅近くまで）の移動 2 通学時の自宅近くから駅・バス停まで（または駅・バス停から自宅近くまで）の移動 3 買い物等の日常生活での目的地付近までの移動 4 京都市内での業務（営業先回りや配達等） 5 公共交通が運行していない、または本数が少なく不便な場所での移動 6 行きは自転車だが、帰りは電車・バスを使いたいとき（またはその逆） 7 京都市内での観光やレジャー 8 サイクリング・トレーニング 9 何で利用したか覚えていない 10 その他（具体的に記入： ）	○		○		●Q26の利用ありの各項目とクロス集計
31	Q28		すべて	シェアサイクルについて改善した方が良いと思う点や、利用しない理由は何ですか。	複数	1 利用したい場所の付近にポートがない 2 利用したいポートに自転車がないことが多い 3 目的地のポートが満車であることが多く使いづらい 4 料金が安い 5 定期券のような制度がない 6 自転車の整備が不十分である 7 交通系ＩＣカードを利用できるようにしてほしい 8 自分の自転車を持っているため利用しない 9 自転車を利用しなくても他の移動手段がある 10 特になし、分からない 11 その他（具体的に記入： ）	○		○		●Q26の利用有無とクロス集計
32	Q29		すべて	自動車での移動を減らし、「自転車」での移動や「公共交通機関」と「自転車」を組み合わせた移動を増やすためには、どのような取組が必要だと思いますか？ 特に重要だと思うものを1つ選んでください。		1 安全に走れる道路環境の整備（専用レーンのネットワーク化、交差点における安全対策等） 2 駅やバスターミナル周辺の駐輪環境の充実 3 シェアサイクルの普及と使いやすいポート（貸出・返却場所）の設置 4 公共交通機関への自転車の持ち込み（サイクルトレイン、サイクルバス） 5 スマートフォンアプリによる一括検索・予約・決済の実現（MaaS） 6 自転車通勤等への優遇 7 自転車利用による効果（消費カロリーやCO2削減量など）の見える化 8 その他（具体的に記入： ）		○	○	○	

No.	設問No.	種別	回答者	設問内容	選択種別	選択肢	過年度比較	年齢別	居住区別	自転車利用別	その他
33	Q30	自転車政策	すべて	京都市で取り組んでいる自転車政策について、あなたが優先して実現してほしいものをすべて選んでください	複数	1 サイクルツーリズムの振興 2 公共交通機関と自転車（シェアサイクル等）の連携による移動利便性の向上 3 市営駐輪場のサービス向上 4 矢羽根や自転車レーンによる自転車走行環境整備の推進 5 自転車安全教室等による自転車安全教育の充実 6 自転車ルールの周知・啓発 7 撤去等の放置自転車対策 8 路上駐車対策等による自転車走行空間の確保 9 特にない 10 その他（具体的に記入： ）	○	○	○	○	